

新規採用職員研修

市長講話



平成31年4月1日

生駒市長

こむらさき
小紫

まさし
雅史



自己紹介





1974年生まれ **45歳**

兵庫県生まれ → **生駒市在住**

妻と子供3人 → **子育て奮闘中！**

前・立命館大学客員講師





生い立ち

- 市立小野小学校・中学校

児童会長、将棋・ゲーム、水泳・日焼け、そろばん

- 私立白陵高等学校

男子寮生活、丸坊主

- 一橋大学

体育会水泳部（水球部）

国家公務員試験





1997年 環境省 入省

- ハイブリッド自動車（プリウスなど）の
税制優遇
- 我が国初となるローソンや
モスバーガーとの環境自主協定の締結
(レジ袋の削減、食品残さ削減など)





外国での生活（2回・5年間）

2002年 シラキュース大学（米国）に留学

- ・マックスウェル行政大学院（行政経営学）
 - ・渡米直後に同時多発テロ（9.11）
 - ・島国パラオでの支援活動
-

2007年 米国の日本国大使館に勤務（外交官）

- ・オバマ大統領の誕生
- ・環境大臣など要人の訪米支援
- ・米国政府、シンクタンク、企業、NPOなどからの情報収集・発信





副市長の**全国公募**に応じ
国家公務員をやめて生駒市へ

2011年8月 副市長

2015年4月 市長





私が 生駒 に来た理由

- 人との コミュニケーション が大好き
市民との近さ、現場との近さ（まちなかバル）
- いろんな 政策分野の連携 が可能
福祉問題は福祉だけで解決できない（地域包括ケア）
- 自治体の スピード感 ・地域から日本を変える
自治体のほうが先進的な動き、スピード感がある
- 生駒市はすごい！
市民、自然、子育て環境、文化・歴史
→ 決断は正しかった！





I 10年後の公務員





10年後を見据え、“今”行動する

- ① 10年後の社会と公務員・自治体への影響を予想しよう
- ② 変化を踏まえ、必要な力や専門性を身につける努力をしよう
- ③ 公務員を辞めても食べていける社会人になろう

Change 1

これまでの常識は非常識

- AIやITにより、公務員の仕事の約60%が消滅
- 市民が役所に来なくなり、窓口業務は消滅
- オープンデータにより、
行政サービスは市民が作り出す時代に
- 根回し不要。AIが議会答弁を書く？





Change2

入口と出口の多様化

- 公務員試験はなくなり、
「公務員志望」「民間志望」は死語に
- リボルビングドアでの採用が増え、
新規採用者数は激減
- 「副業」「一億総公務員時代」
専業公務員は少数派に





Change3

少数精鋭の組織マネジメント

- 公務員数は一気に減少
- 終身雇用や年功序列はまもなく崩壊
- 自治体業務の民間委託が加速
- 庁舎がなくなる
- 国・都道府県と市町村は真に対等な関係に





Change4

自治体も「稼ぐ」～運営から経営へ～

- コストカットではない「真の行政改革」
- ふるさと納税以外の新たな寄付
- 一石三鳥の空き家対策
- 官民連携で地域消費率を上げる
- 行政データの利用で行政サービス革命を
- 自治体が電力会社や民間サービス事業を展開





Change5

国際化というビッグチャンス

- 新興国のインパクトはますます大きくなる
- 観光客は海外から直接誘致
- 地元の名産品も世界なら高く売れる
- 世界の先進事例を学ぶ
- 語学力、プレゼンテーションよりも大切なものがある





Ⅱ これからの 生駒市のまちづくり





① 「自治体3.0」のまちづくり

**市民と行政がともに汗をかきながら
進めるまちづくり**

行政でないとできないこと

→どの自治体にも負けないスピード・質



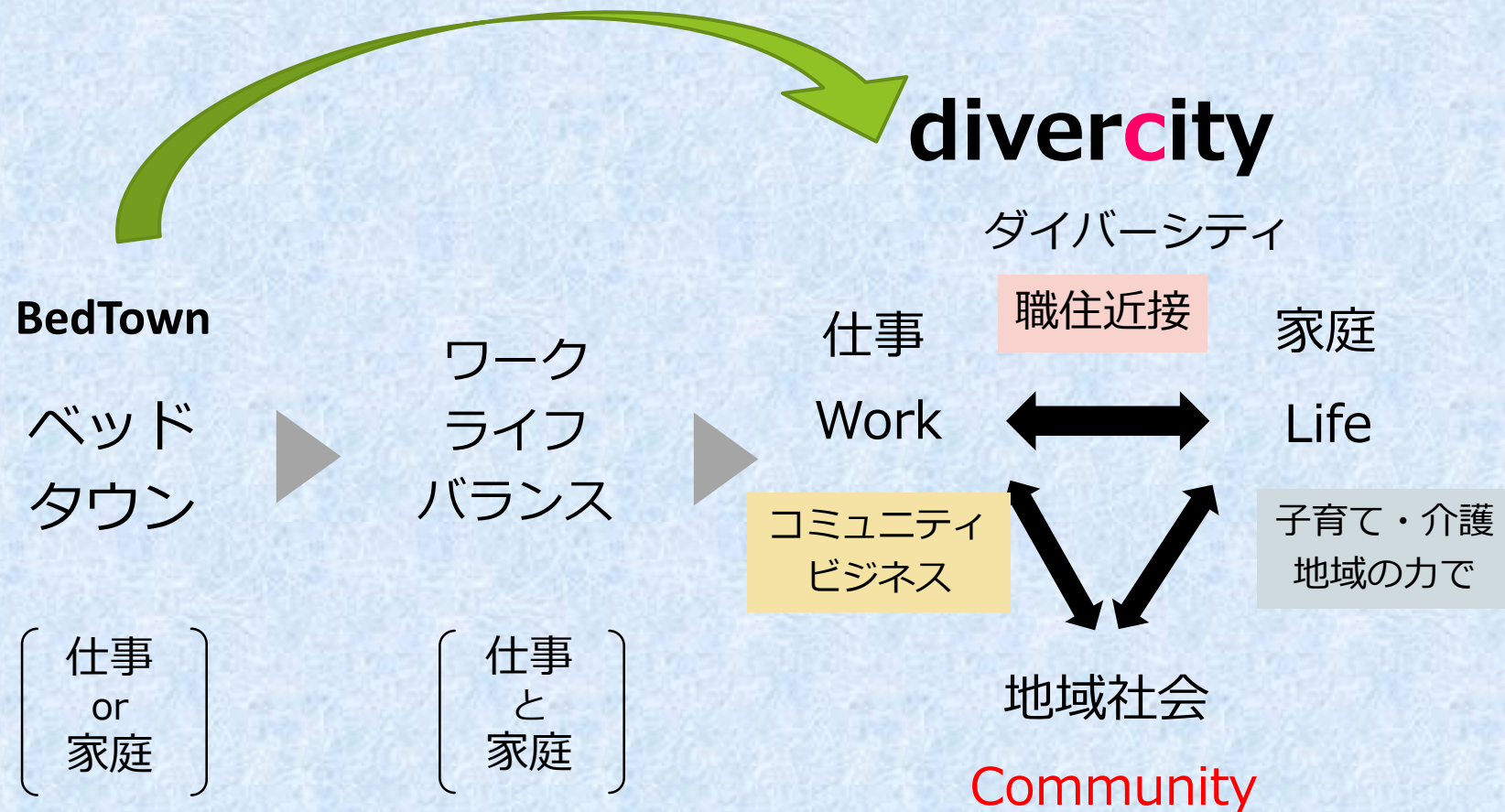
市民・事業者も取り組めること

→みんなの課題はみんなで解決、ともに汗をかく



① 「自治体3.0」のまちづくり

ワーク・ライフ・コミュニティの融合





② 「脱ベッドタウン」のまちづくり

生駒市の強みや特性を最大限に生かして稼ぐ

- ・ 事務事業の見直しなど徹底したコスト削減
- ・ 市民・商工会議所・事業者等とともに住宅都市いこまの強みや特性（自然・伝統、先端技術、退職者や主婦のスキル、市民力など）を生かしたまちの活性化





② 「脱ベッドタウン」のまちづくり

最先端技術と自然・歴史・芸術をつなげる

- AI、ICT、ロボット、バイオなどの最先端技術と、全国屈指の豊かな自然・伝統文化・芸術が融合するいこまの特性を最大限に生かしたまちづくり
- 2025年大阪万博を活かし、世界的にも大きな注目を集める地域を創る





Ⅲ 生駒市で特に

求められる人材像





「協創」

① 「現場の声」を誰よりも詳しく

- ・ 関係団体との信頼関係
(市とコラボできる**キーパーソン**の発掘)
- ・ 多様化、専門化するニーズの把握

② 市民は単なる「お客様」ではない

- ・ **街づくりのパートナー**として協創を進める
- ・ 職員もこれまで以上に汗をかく





「リーダーシップ」



「組織の目標のために、（指示を待つだけでなく）能動的にアクションを起こし、価値を付加し続ける」こと

「採用基準」（ダイヤモンド社：伊賀泰代著）

- ・ タブーや予定調和・前例を崩す勇気
- ・ 具体化や抵抗勢力と戦うエネルギー





IV 1年目の皆さんに 伝えたいこと





1 言われたことを しっかりやりきる

- 自主的に、催促される前に

報告、相談だけでも◎

- スピード感のある50点を目指す

上司への提出 (≠ゴール) = **アドバイスをもらう機会**

経験を積み重ねる = 成功への近道



「しっかりやりきる」強い意志 が大切
言われたこと + aの仕事 ができるように





2 成長につながらない 仕事はない

- 一見単調に見える仕事にも率先して
来客へのお茶だし、書類のコピー・整理整頓 など
- 仕事の見方を変える → 捉え方も変わる
ルーティンワークの中にもクリエイティブ要素は存在
要は「**心の持ちよう**」

何でも **成長につながる**

自ら考え、率先して行動する





3 当たり前前のごことを 確実にやる

- 一番に登庁する
何があっても遅刻はしない
- あいさつは元気よくはっきりと
(役所の全員・来庁者に)
最高の自己紹介
- 迷っている人には道案内



社会人として成長していくうえで

当たり前前のごことを確実にやる ことが大切



4 メモをとる → 復習する

メモ

- ・ 相手に思考を確実に伝える (書くことの重要性)
- ・ 正確性を高める (記憶誤りなどのミスを防ぐ)



復習

- ・ 新たな気づきや学び
- ・ スキルとして定着させる



知識や経験のストックを増やすことで

処理スピード↑ & 学ぶチャンス↑

→ **仕事の好循環につながる**





5 臆せず積極的に発言せよ

- 思い込みのない素直な目線で意見を述べる
経験豊富なベテランにはない目線は貴重
臆せず発言する ≠ 質問しまくる
- 現場の感覚を伝える
現場で得た市民の声 → 新たな判断材料に



新鮮な目線での意見や現場の生の声は
思わぬ解決策を生み出すことがある
→ **新人の特権**





6 複線化を意識する

- ・ 上司 ↔ クロスメンター
- ・ 本業 ↔ 自分 P T ↔ 自主勉強会
- ・ 仕事 ↔ 個人 ↔ 地域



さいごに





若いうちが勝負

- 1年目** とにかく 訊く、慣れる、頑張る
- 2～3年目** **付加価値**をつける
自分プロジェクト
- 3～5年目** 勝負が決まる



いつ公務員をやめても、食べていける、
どこでも活躍できる職員を目指す

→ こういう公務員が社会を変える！



(参考) 課題図書

入社1年目の教科書 (岩瀬 大輔)

→ 仕事に取り組む姿勢、どう動くかで、見える世界が変わる

公務員の未来予想図 (小紫 雅史)

→ 10年後の公務員のあるべき姿

「地方財務」掲載 (14年6月～15年5月)

「役所で生き抜くヒント」 (小紫 雅史)

ほかにも…

「リーダーシップ」 (伊賀 泰代)

「霞ヶ関から日本を変える」 (プロジェクトK)

「行政」を変える」 (村尾 信尚)

「公務員ってなんだ」 (熊谷 俊人)

「成功者の告白」 (神田 昌典) など

